

研究助成受領者 16 人決定／矢崎科学技術振興記念財団

2021/03/29 中部経済新聞 10ページ 486文字

科学技術の研究開発を支援する矢崎科学技術振興記念財団（東京都港区）はこのほど、2020年度の研究助成金受領者16人を決定した。

同研究助成は、新材料、エネルギー、情報の3分野を対象領域に公募。合計136件の応募の中から独創的で科学技術の進歩に大きな貢献が見込める研究として、「特定研究助成（1千万円）」1件、「一般研究助成（200万円）」5件、若手研究者向け「奨励研究助成（100万円）」10件を選定した。

特定研究助成には、東北大学多元物質科学研究所教授の本間格氏の「有機電極材料を利用した高エネルギー密度・レアメタルフリー型リチウムイオン電池の開発」が決まった。

中部地区では、奨励研究助成に名古屋大学大学院工学研究科・物質科学専攻・レオロジー物理工学研究グループ助教授の土肥侑也氏の「新規固体高分子電解質の調製とそのイオン伝導機構解明」が選ばれた。

また、過去の研究助成の中から優れた業績を上げた研究者に対する「矢崎学術賞」に2人を選出した。

同財団は、1982年に矢崎総業（本社東京都港区）の設立40周年を記念して発足。研究助成金の贈呈は今回で38回目となる。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.

研究助成受領者16人決定

矢崎科学技術振興記念財団

科学技術の研究開発を支援する矢崎科学技術振興記念財団（東京都港区）はこのほど、2020年度の研究助成金受領者16人を決定した。

同研究助成金は、新材料、エネルギー、情報の3分野を対象領域に公募。合計136件の応募の中から

独創的で科学技術の進歩に大きな貢献が見込める研究として、「特定研究助成（1千万円）」1件、「一般研究助成（200万円）」5件、若手研究者向け「奨励研究助成（100万円）」10件を選定した。

特定研究助成には、東北大学多元物質科学研究所教授の本間格氏の「有機電極

材料を利用した高エネルギー密度・レアメタルフリーリチウムイオン電池の開発」が決まった。

中部地区では、奨励研究助成に名古屋大学大学院工学研究科・物質科学専攻・

レオロジ―物理工学研究グループ助教の土肥侑也氏の「新規固体高分子電解質の調製とそのイオン伝導機構解明」が選ばれた。

また、過去の研究助成の中から優れた業績を上げた

研究者に対する「矢崎学術賞」に2人を選出した。

同財団は、1982年に矢崎総業（本社東京都港区）の設立40周年を記念して発足。研究助成金の贈呈は今回で38回目となる。

